

人間社会研究科 現代社会論専攻

【中学校専修（社会）、高等学校専修（公民）】

①教員養成の目標

本専攻は、激動する現代社会を研究対象とし、地球規模の社会問題に着目するマクロな視点と、身近な家族や地域社会の問題に着目するミクロな視点とを合わせもって、総合的な社会科学研究に取り組んでいる。21世紀に生きる私たちが研究や仕事など、それぞれの活躍する場で専門的・技術的知識を活かしていくのに必要な学問的能力の習得を目指している。本専攻の教職課程の設置趣旨は、現代社会における諸課題を理論的・歴史的・政策的に研究する力をもった女性教員を養成することにある。

【中学校専修（社会）】

社会科学の高い専門的知識を身に着け、中学校（社会）を教授するうえで、それを活かしていく高度な能力をもった女性教員を養成する。

【高等学校専修（公民）】

社会科学分野の高い専門的知識を身に着け、高等学校（公民）を教授するうえで、それを活かしていく高度な能力をもった女性教員を養成する。

②当該目標を達成するための計画

本専攻は社会科学の多様な研究分野の専門知識を取得することが可能であり、学生が自らのカリキュラムを作成し、総合的な知見を得ることができるよう支援をする。専攻としての目標達成に向けた具体的な計画は設けていない。しかし、教職資格取得希望学生に対する指導は、次のように行っている。

教職資格取得希望学生がある場合、指導教員は教職課程担当者（教育実習担当者を兼務）を交え、履修計画を策定している。その際に、指導教員と教職課程担当者は、基盤教育センターのもとに全学共通で設置されている教職課程委員会との連絡を密にしている。また、学位請求論文の作成と採用試験の準備とを勘案し、通常の大学院生とは異なる研究指導計画をたてている。

【中学校専修（社会）】

学位の取得に向けた指導と共に、免許状取得のため大学院の課程で習得すべき単位数（24単位）を踏まえ、所属専攻を中心とした授業科目から免許種に適した科目を選択履修するよう、初年時から履修指導を行っている。

【高等学校専修（公民）】

学位の取得に向けた指導と共に、免許状取得のため大学院の課程で習得すべき単位数（24単位）を踏まえ、所属専攻を中心とした授業科目から免許種に適した科目を選択履修するよう、初年次から履修指導を行っている。